

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 18		
事業種別	林道事業	事業主体	青森県		
事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	管理主体	黒石市		
箇所名等 (市町村名)	上十川大川原線 (黒石市)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独		
		財源・負担区分	●国50% ●県36.7% ●市11.04% ●その他2.26%		
事業の背景・必要性	当該地区における利用区域の立木蓄積は161,739m ³ となっているが、利用区域内には林道が1路線あるのみで森林整備の機械化・効率化が進んでいない。このことから、将来的にスギ材の供給拠点と成り得る地域であり、適正な森林施業を実施していくうえで、国道394号線と市道長坂浄仙寺を連絡する骨格的な林道を開設する必要がある。				
主な事業内容 (事業量)	林道開設 L=8,067.9m				
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 山村地域の定住促進及び生活環境の改善推進 《その他の効果》				
事業の実施経過	《事業着手》平成6年度 《用地着手》		《工事着手》平成6年度		《事業完了》平成25年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) 〔当初計画時〕	再評価時(H15年)	再評価時(H20年)	事後評価時(H25年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H6 ～ H15	H6 ～ H28	H6 ～ H28	H6 ～ H25	
総事業費	1,000 百万円	2,128 百万円	2,128 百万円	1,654 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(10年)	第2回計画変更(14年)	第3回計画変更(21年)	第 回計画変更(年)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H6 ～ H28	H6 ～ H28	H6 ～ H28	～	
総事業費	1,000 百万円	2,128 百万円	1,874 百万円	百万円	
特記事項	【公共事業評価の状況】 これまで2回(H15,H20)の公共事業評価を実施し対応方針は継続				
《事業概要図》					

担当部課室名	農林水産部林政課	電話番号	017 - 734 - 9524	
		E-MAIL	rinsei @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 21	
事業種別	農業農村整備事業	事業主体	青森県	
事業名	農業水利施設魚道整備促進事業	管理主体	大畑土地改良区	
箇所名等 (市町村名)	大畑 (むつ市)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 50% ○ 市町村 % ○ その他 %	
事業の背景・必要性	<p>大畑川は、むつ市の北部に位置する大畑地域の中心部を流下し、流域面積の広さでは下北地域有数の河川である。この大畑川は以前にはヤマメやイワナ、アユなど多種多様な魚類が豊富に生息し、流域に住む人々は古くから年中様々な魚を捕獲してきた。</p> <p>大畑川内水面を管理する大畑町漁業協同組合は、大畑頭首工直下の支流に建設したサケマスふ化場を活用し稚魚の放流を行ってきたが、近年、頭首工上流部の魚影が薄くなっている状況にある。その主な要因としては、魚道入口が頭首工より突出しているために、頭首工の直下に集まる魚が魚道入口を見つけられにくい構造となっていること、また同じく魚道入口部分に土砂が堆積し、魚類の遡上の障害となっていることが挙げられている。また、老朽化により魚道側壁にひび割れがみられ、漏水している状況にある。</p> <p>以上のことから、むつ市、大畑町漁業協同組合、大畑土地改良区から強い要望があり、既設魚道を改修し、環境及び生態系の保全を図ることとなったものである。</p>			
主な事業内容 (事業量)	魚道工 1箇所			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>—</p> <p>《その他の効果》</p> <p>魚類の移動経路が確保され、河川環境及び生態系が保全される。</p>			
事業の実施経過	《事業着手》平成22年度 《用地着手》平成24年度 《工事着手》平成23年度 《事業完了》平成25年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H21年) 〔当初計画時〕	再評価時(年)	事後評価時(H30年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H22 ～ H24	～	H22 ～ H25	
総事業費	64 百万円	百万円	85 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	～	～	～	～
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項				
《事業概要図》				
担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9554	
		E-MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 26	
事業種別	農業農村整備事業	事業主体	青森県	
事業名	一般農道整備事業	管理主体	蓬田村	
箇所名等 (市町村名)	高根 (蓬田村)	事業方法	● 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 50% ○ 市町村 % ○ その他 %	
事業の背景・必要性	本路線は、蓬田村の北部に位置し、国道280号と高根集落間の水田153haを受益地とする基幹的な農道であるが、農耕車両の大型化に伴う車両のすれ違いなど通作や農産物輸送に大きな支障をきたしている。このため、本農道を整備し、農耕車両の大型化による輸送の合理化、農耕車両の走行経費及び維持管理費の節減により、本地域農業の収益性の向上と経営の安定を図るものである。			
主な事業内容 (事業量)	道路工 L=1,840m 幅員 W=6.0m(車道5.0m+路肩0.5m×2)			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>(1) 走行経費節減効果 ・農産物の生産及び輸送において、農耕車両の走行経費が節減される効果</p> <p>(2) 維持管理費節減効果 ・農道の維持管理において、その費用が節減される効果</p> <p>(3) 一般交通等経費節減効果 ・農業以外の一般交通において、その車両の走行経費が節減される効果</p> <p>《その他の効果》 -</p>			
事業の実施経過	《事業着手》平成21年度 《用地着手》平成22年度 《工事着手》平成22年度 《事業完了》平成25年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H20年) 〔当初計画時〕	再評価時(年)	事後評価時(H30年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H21 ～ H26	～	H21 ～ H25	
総事業費	290 百万円	百万円	184 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H24年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H21 ～ H25	～	～	～
総事業費	184 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	【計画変更内容】 終点側の一部区間(460m)について、詳細調査の結果、既設利用が可能となったことによる、事業量・事業費の減、工期の短縮			
《事業概要図》				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> </div> <div style="width: 35%;"> </div> </div>				
担当部課室名	農林水産部農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9545	
		E-MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

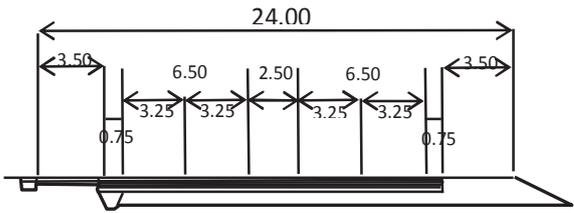
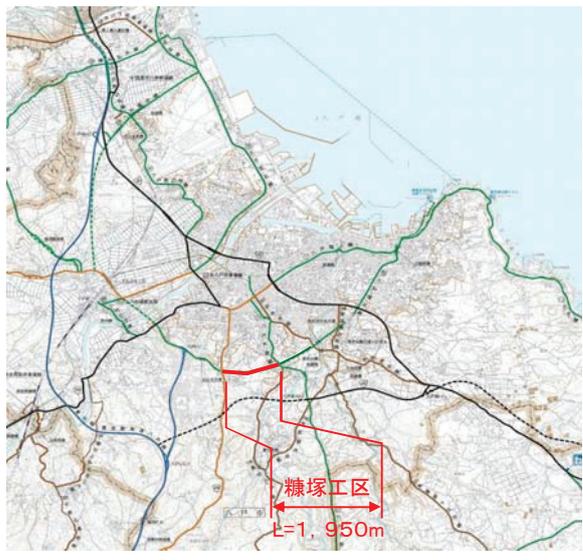
1 事業概要		整理番号	H29 - 40	
事業種別	漁港海岸事業	事業主体	青森県	
事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	鱒ヶ沢漁港 (鱒ヶ沢町)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 50% ○ 市町村 % ○ その他 %	
事業の背景・必要性	<p>鱒ヶ沢漁港海岸は、日本海に面した鱒ヶ沢町に位置し、海岸背後の国道101号沿いには人家が密集しているほか、はまなす公園、日本海拠点館などの公共施設が立地する地域であるが、度重なる波浪などにより既設の護岸などから背後の人家に越波浸水による被害などが発生している状況であった。 このことから、既設の護岸及び離岸堤を改良し、越波浸水被害の防止を図ったものである。</p>			
主な事業内容 (事業量)	護岸(改良) 1,080m 潜堤 430m			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 (1) 浸水防護効果 ・護岸の改良及び潜堤の整備により、高潮に伴う想定浸水地域内の一般資産(家屋、事業所、農漁家資等)、公共土木施設、公益事業等の被害が軽減される。 《その他の効果》 -			
事業の実施経過	《事業着手》平成13年度 《用地着手》 - 《工事着手》平成13年度 《事業完了》平成25年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-) 〔当初計画時〕	再評価時(H22年)	事後評価時(H30年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H13 ~ H19	H13 ~ H24	H13 ~ H25	
総事業費	1,100 百万円	2,070 百万円	2,020 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H19年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H13 ~ H24	~	~	~
総事業費	2,070 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	平成22年度の再評価において「継続」とされ、附帯意見は付されなかった。			
《事業概要図》				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 鱒ヶ沢漁港海岸 整備平面図 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 事業実施位置図 </div>		

担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614
		E-MAIL	gyoko @pref.aomori.lg.jp

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 42	
事業種別	水産基盤整備事業	事業主体	青森県	
事業名	漁港施設機能強化事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	檜川地区 (むつ市)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 40% ● 市町村 10% ○ その他 %	
事業の背景・必要性	<p>本地区は、低気圧等の襲来時において、南防波堤等からの越波により、港内の静穏度が悪く、漁船同士の接触や用地への浸水による漁具の流出の被害が発生している状況となっている。</p> <p>これらの状況を改善するため、外郭施設の嵩上げ改良を行い、安全で効率的な水産物供給体制を構築を図る。また、災害発生時に生産拠点としての機能を確保するため、主要な陸揚げ岸壁等の地震・津波に対して安定性の検証を行い、被災後の水産物供給基盤の機能の維持を図る。</p>			
主な事業内容 (事業量)	南防波堤122.2m、第2南防波堤130.2m、護岸12.8m			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>(1)水産物生産コストの削減効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外郭施設の整備により、港内静穏度が向上し、荒天時の避難移動作業が解消される。 ・外郭施設の整備により、防波堤からの越波による用地の浸水が解消され、漁具の片付け作業が解消される。 ・外郭施設の整備により、港内静穏度が向上し、時化時の漁船の見回り・見張りが解消される。 <p>(2)漁業就業者の労働環境改善効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外郭施設の整備により、港内静穏度が向上し、陸揚げ作業等の安全性の向上など労働環境が改善される。 <p>《その他の効果》</p> <p>—</p>			
事業の実施経過	《事業着手》平成24年度 《用地着手》—		《工事着手》平成24年度 《事業完了》平成25年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H23年) 〔当初計画時〕	再評価時(—)	事後評価時(H30年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H24 ~ H28	~	H24 ~ H25	
総事業費	500 百万円	百万円	336 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H25年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H24 ~ H25	~	~	~
総事業費	520 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項				
《事業概要図》				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>檜川漁港 整備平面図</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>事業実施位置図</p> </div> </div>				
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614	
		E-MAIL	gyoko@pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 44				
事業種別	道路改築事業	事業主体	青森県				
事業名	県道改築事業	管理主体	青森県				
箇所名等 (市町村名)	八戸環状線糠塚工区 (八戸市)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独				
		財源・負担区分	● 国 65% ● 県 35% ○ 市町村 % ○ その他 %				
事業の背景・必要性	<p>主要地方道八戸環状線は八戸市市川町を起点とし、東北縦貫自動車道八戸線八戸北IC・八戸ICを経由し重要港湾八戸港に至る幹線道路で、各種交通結節点を連結し物流を支えるとともに津波災害時の避難路となる重要路線である。</p> <p>糠塚工区は、八戸IC及び国道45号八戸南環状道路と八戸市街地及び八戸市立市民病院を連絡する区間としてバイパス整備事業を実施したものである。</p>						
主な事業内容 (事業量)	全体延長 L=1,950m 道路幅員 W=24.0m (4車線)						
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 ①走行時間短縮 ②走行費用減少 ③交通事故減少 《その他の効果》 ①地域間交流の促進 ②産業・観光分野の発展を支援 ③防災機能の強化						
事業の実施経過	《事業着手》平成8年度				《用地着手》平成9年度	《工事着手》平成10年度	《事業完了》平成25年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(H17年)	再評価時(H22年)	事後評価時(H30年) [最終実績]			
事業期間(事業着手～事業完了)	H8 ~ H25	H8 ~ H25	H8 ~ H24	H8 ~ H25			
総事業費	9,265 百万円	9,265 百万円	9,553 百万円	9,816 百万円			
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)			
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~			
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円			
特記事項	・平成17年度、平成22年度に再評価を実施、対応方針:継続、個別付帯意見なし						
《事業概要図》							
  							
担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	017 - 734 - 9651				
		E-MAIL	doro @pref.aomori.lg.jp				

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 45		
事業種別	道路改築事業	事業主体	青森県		
事業名	県道改築事業	管理主体	青森県		
箇所名等 (市町村名)	むつ尻屋崎線岩屋工区 (東通村)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独		
		財源・負担区分	● 国 65% ● 県 35% ○ 市町村 % ○ その他 %		
事業の背景・必要性	<p>主要地方道むつ尻屋崎線は、下北地方の中心都市であるむつ市を起点とし、下北郡東通村尻屋崎を終点とする延長29.5kmの幹線道路である。</p> <p>現道の人家連坦部における幅員狭小区間(Wmin=4.0m、歩道なし)を解消し、下北半島国定公園として指定を受けている尻屋崎や石灰鉱山、尻屋岬港等へのアクセス向上により、地域の観光や経済の活性化に寄与することを目的としてパイパス整備事業を実施したものである。</p>				
主な事業内容 (事業量)	<p>全体延長 L=4,040m 道路幅員 W=6.0(11.5)m</p>				
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》 ① 走行時間短縮 ② 走行費用減少 ③ 交通事故減少</p> <p>《その他の効果》 ① 地域間交流の促進 ② 産業・観光分野の発展を支援 ③ 歩行者の安全確保</p>				
事業の実施経過	<p>《事業着手》平成5年度 《用地着手》平成8年度 《工事着手》平成8年度 《事業完了》平成25年度</p>				
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) 〔当初計画時〕	再評価時(H16年)	再評価時(H21)	事後評価時(H30年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H5 ～ H30	H5 ～ H30	H5 ～ H26	H5 ～ H25	
総事業費	4,200 百万円	4,200 百万円	4,200 百万円	3,996 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	
事業期間(事業着手～事業完了)	～	～	～	～	
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円	
特記事項	<p>・平成16年度と平成21年度に再評価を実施。 対応方針:継続 附帯意見:平成16年度あり 自然環境等に影響が出ないよう配慮すること。完了年度が平成30年度となっており、便益の発現が遅くなることが見込まれることから、事業計画の見直し等によって効果の早期発現の可能性を検討すること。</p>				
《事業概要図》					
担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	017 - 734 - 9651		
		E-MAIL	doro @pref.aomori.lg.jp		

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 47	
事業種別	河川事業	事業主体	青森県	
事業名	河川改良事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	薄市川 (中泊町)	事業方法	○ 国庫補助 ○ 交付金 ● 県単独	
		財源・負担区分	○国 % ●県100% ○市町村 % ○その他 %	
事業の背景・必要性	市街地から左支川の合流点までの区間について河川の改良工事を行い、当該区間及び下流市街地の人家及び田畑を洪水被害から守る。			
主な事業内容 (事業量)	築堤工L=680m 掘削工L=680m 樋門 N=2箇所			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 算定していない 《その他の効果》			
事業の実施経過	《事業着手》平成16年度 《用地着手》平成16年度 《工事着手》平成17年度 《事業完了》平成25年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H16年) 〔当初計画時〕	再評価時(年)	事後評価時(H30年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H16 ~ H19	~	H16 ~ H25	
総事業費	250 百万円	百万円	196 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項				
《事業概要図》	<p style="text-align: center;">河川改良事業 L=680m 築堤・掘削 L=680m 排水樋門 薄市 計画標準断面 左支川</p>			
担当部課室名	県土整備部 河川砂防課	電話番号	017 - 734 - 9665	
		E-MAIL	kasensabo @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H29 - 60	
事業種別	港湾事業	事業主体	青森県	
事業名	大湊港海岸(侵食)事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	大湊地区 むつ市	事業方法	● 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 50% ○ 市町村 % ○ その他 %	
事業の背景・必要性	既設護岸は昭和40年代に建設されたものであり、経年劣化や長年の波浪等によって、ひび割れや基礎部分の洗掘が顕著に発生していたことから、海岸保全機能の回復を図るため、護岸の改良事業に着手したものである。			
主な事業内容(事業量)	護岸(改良)L=900m			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 浸水防護効果 《その他の効果》 親水性の向上 海域生態系の復元			
事業の実施経過	《事業着手》平成12年度 《用地着手》 — 《工事着手》平成13年度 《事業完了》平成25年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(- 年) 〔当初計画時〕	再評価時(H21年)	事後評価時(H29年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H12 ～ H23	H12 ～ H24	H12 ～ H25	
総事業費	2,100 百万円	2,100 百万円	1,577 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	～	～	～	～
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項				
《事業概要図》 【平面図】				
【標準断面図】				
担当部課室名	県土整備部 港湾空港課	電話番号	017 - 734 - 9677	
		E-MAIL	kowan @pref.aomori.lg.jp	